

C'est BURKINA!!

ブルキナファソレポート vol.2 

「植林」

雨季真っ只中のブルキナファソ。村人は、朝から晩まで畑仕事に大忙しです。
ブルキナファソで栽培されている農作物は主にトウモロコシ、落花生、そして綿花。
ブルキナファソコットンはとても質が良いと評判です。

そんな、ブルキナファソの雨季にやらなければいけないことがもうひとつ。それは「植林」です。

砂漠化が進んでいるといわれているブルキナファソ。

しかし人々にとって「木」はとても生活に密着したもので、毎日の生活に欠かせません。農村部で暮らす人々は今でも毎日「薪」を使って料理をします。



私の配属先であるブルキナファソ環境省は、この問題に取り組むため日頃から不法伐採の取り締まりをするとともに、毎年雨季になると多くの植林イベントを開催します。



私も、小学校で環境教育を行う中で砂漠化の問題について話す機会が多くありました。

すると、「わたしの小学校でもぜひ植林をしたい！」とある校長先生が言ってくれたのです。

その小学校はひとクラスだけの小学校。4年生 61名。
事前に「木を育てるためにしなければいけないことは何か」という話し合いを行いました。

そして7月中旬、

ひとり一本「わたしの木」を校庭に植林。

植えたあとに、放し飼いの家畜に食べられてしまう、乾季に水不足で枯れてしまう、といった問題も深刻です。

ひとりひとりが工夫を凝らして、この木を大切に育ててくれることを願っています。

